

「全国高校生エコ・アクション・プロジェクト」第2回高校生環境活動全国大会報告

大門高等学校国際環境委員会

英語スピーチコンテストの成績が思わしくなく落ち込んでいた私たちを見かねて先生方が薦めてくださった「全国高校生エコ・アクション・プロジェクト」に応募しました。平成23年度のCEIに関する取り組みと国際環境委員会が長年にわたって行っている取り組みを紹介して高校生にできることを提案する発表映像を送付したところ、全国大会に出場できることになり、代表して2年生3名が平成24年2月11日～12日に東京で開催された高校生環境活動全国大会に出席してきました。

<2月11日>

1日目は主に講師の先生のお話や、環境活動に力を入れている学校が制作したビデオ映像を見ました。講師の先生方からは普段の生活では知ることのできないような環境問題の「リアルな現状」を私たちにも理解できるよう、わかりやすく噛み砕いて説明していただきました。英国大使館のリチャード・オープンハイムさん、WWF ジャパンプロジェクトリーダーの小西雅子さんからは、「これ以上温度が上がってしまうと、取り返しのつかないことになる」という主張をベースに、今まで地球がたどってきた環境の変化や、気温が上がることによって生じる異常気象、地球の未来を守るため世界各国の環境大臣レベルの偉い方々が集まる「環境サミット」で今現在話し合われていること、各国間での争いなど、どうしても自分たちの国の利益を求め他国への配慮ができず最も核になるはずの事項が決まらず会議や政策が進まないといった簡単には解決できない問題についても詳しく語っていただきました。「地球温暖化を防止することは不可能であり、どれくらい抑えられるかが重要である」という言葉は正直ショックで、目には見えないけど確実に地球が危ない状態にあり崖っぷちまできているという危機感を感じました。映像では、20年前にリオデジャネイロで行われた環境サミットで当時12歳だったセヴァン・スズキさんが行った伝説のスピーチ映像を見ました。自分の身の回りのことで精一杯であろう12歳という若さで、地球の未来という大きくて先の先のことを真剣に考えて公の場で自分の意見を述べる彼女に感銘を受けました。

<2月12日>

2日目は、全国の高校生の発表と環境宣言がありました。北は北海道、南は鹿児島まで全国から高校生が集まり、自分たちの学校で取り組んでいるエコ活動についてプレゼンテーション発表をし、互いに環境について知識を深めるためのコンクールです。またゲストとして北京の学校からも参加



していました。高校生の発表では、専門的に環境について調べ活動を行っている高校について知ることができました。演劇風であったり、研究しているものの実物を見せたりと見応えのあるものばかりでした。その学校のある土地ならではの実験を行っているところもあり、それぞれの環境が活かされていると思いました。他の多くの学校が農業高校や工業高校で、授業の一環として取り組んでいるところが多く、自分たちよりも専門性の高い活動をしていて圧倒されました。環境保全活動をしているだけでなく、環境保護と結びついた新たなシステムや商品の研究、開発に取り組み、地域活性化につなげているというチームが多くありました。昨年3月11日の東北大震災の影響でそれまで積み上げてきた活動がふりだしに戻ってしまった、という学校もあり、恐怖とありがたみを直に感じました。また私が最も興味を持ち、やってみたいと思ったのは「eco 出前授業」でした。自分たちの環境保護についての知識や経験を生かし、地域の小中学校に赴いて子供たちに環境保護の重要性を伝える、という活動でした。

私たちが秋のスピーチコンテストの悔しさを胸に、CEIのときから調査活動をしてきた富山の水について、また国際環境委員会が実施している「エコライフ度チェック」や「ノークーラーDAY」などを中心に、高校生にできることは何かを伝える発表をしてきました。私たちの活動を私たちに発表し、伝えることができました。

環境座談会ではリチャードさんに質問する機会があり、より理解を深めることができました。また、環境宣言では大門高校の宣言として、「知る」から「する」へ”を掲げ、発表しました。

<全国大会に参加して>

この高校生環境活動全国大会を通して、高校生のふれる身近な環境から世界の環境までの現状を知り、一人ひとりが自覚し世界を変える勇気を出さなければいけないと自覚させられました。毎日小さなことを積み重ねることはもちろん、国と国とを繋ぐ仕事に携わっている人は大きく国を変える力を持っているのだから、それぞれが努力すべきだと思いました。

この2日間、普通ではできない経験をする事ができて、本当に良かったです。この機会に得た情報や学んだことは、きっとこれからの自分の成長への糧になると思います。この経験を活かし、自分の考えを深め、これから何かの役に立てればよいなと思います。



これからの未来を築く世代である私たちが、今できること、心にしっかりとどめておかねばならないことをこの2日間でみっちり学ぶことができました。普段の生活では決してできないような経験をする事ができました。この経験を忘れず地球のことを真摯に考えていくことを誓います！